

TAKAMATSUプロジェクト 1学年 ~Make your dream take wings~

目的：
 「大学卒業後にどのように生きていくか」までを見通しながら、自分の進路実現に向けて、どのように現在を生き、どのような未来を築いていくかを考えて周囲と協働して行動できる生徒を育成する。
 ※キャリアプラン＝進路意識高揚策（キャリア学習と課外活動など含めた総合学習）とサクセスプラン＝学習支援策が相乗的に活きる教育活動を行う。
 （学力があつてこそ進学、人間力があつてこそ学力）

- ・行事ごとに必ず、事前学習（目的提示&調査学習など）、事後学習（感想・振り返り記入）を行わせる。
- ・職員会議で、事前に目的と計画を提示し、事後に生徒の振り返りを含めて実施内容を報告する。
- ・生徒には全ての活動について記録を取らせていく。（校外活動、資格取得なども）

*このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けて、生徒の学びの見取り図的なものです。

		キャリアプラン (キャリア・進路意識高揚)		サクセスプラン (日々の学習)		支援 上・下位層			
	全校	学年	目的 (生徒視点)	教科学習・調査・校外模試	目的 (生徒視点)	目的 (教員視点)	上位層	下位層	
4月	上	4/5入学式 4/8,9学習教材の準備 探究教材の準備	飯田高校生として、どのように生活していくか(考え方も含め)どのように学習していくか、さらにキャリア教育の意義についても理解。	高校卒業後、また大学卒業後の自分をイメージすることにより学習のモチベーションを高める。	ブラッシュアップ教材 4/7実力テスト (3/27~4/6)	中学時学習内容に抜けがないかの確認。	中学時学習内容に抜けがないかの確認。	PDCAサイクル、特に振り返りの重要性を意識づけ。	
	下	探究授業開始	1学年の探究活動を通して「問を立てる力」を醸成する。	主体的・協働的活動による集団としての力の向上		学習習慣の振り返りと、目標の設定	高校生活を開始するうえでの注意点を把握。集団傾向の見立て。	予習→授業→復習のリズムを意識づけ。 適宜学習記録調査。 生徒の心配等を吸い上げ。	
5月	上	進路希望調査 (キャリアプラン)	自己の将来像を具体的にイメージ開始。						
	下	進路希望調査 (キャリアプラン)							
6月	上	南信総体		知識・理解に根ざした 学習習慣の確立	5/7 整理テスト	4/27-5/7 面談期間		長いGWの学習計画を確認。	
	下	PTA総会 7/23 学年PTA		主体的 計画的 協働的な 学習生活の実現				し表 現層 的 学 び 知 に 職 向 か 理 う 解 察 に 特 意 注 意 成 ら な 積 い 、 極 め た 意 識 的 な 考 促 判 断	にに生 向の活 けいり ててズ 話員ム 題体へ 整的授 理な業 見、 立 課 外 留 留 成 ら な 積 い 、 極 め た 意 識 的 な 考 促 判 断
7月	上	県大会 芸術鑑賞			6/4-10 家庭学習 重点週間	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	学習習慣確立状況・内容定着の確認		
	下	北信越大会 先輩に学ぶ	年齢の近い卒業生という存在に接し、具体的な成功体験・失敗体験を知ること、進路意識を深め、学習習慣を再確立。	知識・理解に根ざした	6/11-16 第1回考査				
8月	上	信大説明会 科目選択説明会	地元国立大学の講義・説明に触れ、高校と大学の学びの違いを知り、進路意識を醸成。2年時科目選択の知識・理解。希望進路をふまえ、建設的な選択へ。	進学への具体的な情報とイメージを持つことにより	7/4 進研模試	「大学進学」及び「全国」を意識。	「大学進学」及び「全国」を意識。	的た大 な限 な限 提の活 み 案 具 を 体 す 最	習用を家 。有 庭 適 速 達 宜 活 給 補 日
	下	夏の各種体験 インターンシップ 就業体験 看護体験 ボランティア等	体験学習として、自分の進路に合わせた個別のオプションや就業体験で、視野を広げる。	夏までの学習をまとめ生活の振り返り 集中学習や 体験に反映 視野を広げる		7/17-24 面談期間	考査・模試等の結果を受けた学習習慣の振り返り。	学習習慣の確立状況・内容定着の確認	・視野を広げるための具体的な提案・情報おし。 ・時間を無駄にさせないための具体的な指導。
9月	上	小論文ガイダンス 9/4 校外研修	小論文の初歩を学ぶ。大学を訪問し、大学生活や学問分野について知見を広げる。	「書く経験による知識欲の向上」 将来像への進路を知るための	8/24 実力テスト	9/8-14 家庭学習 重点週間	夏休み中に取り組んだ内容の確認	学習リズム・姿勢再確立。学習集団再構築。	
	下	探究学習 課題研究開始	前期に学んだ問を立てる力を活かし、個々の課題を見出し仮説を立て結論を導き出す力をつける。	知識・理解に根ざした		9/16-19 第2回考査	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	学習リズム・姿勢再確立。学習集団再構築。	
10月	上	終始業式 7/23 教育懇談会		学習サイクル再確立・補強 主体的かつ協働的に取り組む			この半年の変化や、高校生の学習習慣が身に付いているかを把握。よりハイレベルな視点で「全国」を意識づけ。	この半年の変化や、高校生の学習習慣が身に付いているかを把握。よりハイレベルな視点で「全国」を意識づけ。	各教科においても成果・課題を提出し、計画調整と指導への反映。 必要に応じて補習等も。
	下	面談週間 探究学習 中間報告	半年間行ってきた探究活動を振り返る力と、今までの結果から課題を見つけ、再度仮説を立てる力をつける。	「表現する」経験による知識欲の向上	10/31 進研模試	考査・模試等の結果を受けた学習習慣の振り返り。希望進路を確認し、文理選択を適切に行う。	学習習慣の確立状況・内容定着の確認。希望進路を明確にさせ、文理選択を適切に行う。		
11月	上	11/4, 5 未知への挑戦	総合研究大学院大学と飯田市と飯田高校の連携事業を通して、自己の将来像、在り方を構想する機会とする。	キャリア意識に根ざした			若手教員の現状と克服のポイントを明確にする。	計に志 望 「2 系 家 年 統 後 」 速 か 進 路 学 生 活 を 用 し 具 体 的 に 分 野 を 意 識 し も 確 立 し 化 学 を	し 績 講 義 的 等 的 に も 促 き 要 し つ 直 に し し 分 野 を 意 識 し も 確 立 し 化 学 を
	下	小論文演習	単なる作文ではない、小論文作成の基礎を理解する。	知識・理解に根ざした 読解力・思考力の向上	11/24-27 第3回考査	11/17-23 家庭学習 重点週間	考査の結果を受けた学習習慣の振り返り。	学習習慣の確立状況・内容定着の確認。	
12月	上	小論文演習 12/8 大学模擬講義	単なる作文ではない、小論文作成の基礎を理解する。大学模擬講義の受講により、大学での学びを体験し、学習意欲向上のきっかけとする。	「書く経験による知識欲の向上」 キャリア意識に根ざした			12/17-24 面談期間		
	下	聖霊式		知識・理解に根ざした 読解力・思考力の向上	1/6 実力テスト	1/9 進研模試	第3回考査以降に取り組んだ学習内容の確認	第3回考査以降に取り組んだ学習内容の確認	
1月	上	共通テスト 試験	自己の現時点の力・姿勢を把握し、将来像を具体化し、目標を定める。	「表現する」経験による知識欲の向上			1/23 全統模試・駿台模試	1年時の学習内容の総チェック。春休みへの指針とする。	模試が連続し、かつ共通テスト試験が行われているという好材料を最大限活用。各自の達成目標を意識し、計画を立て、その振り返りもしっかりとさせる。
	下	探究学習 課題発表会	一年間行ってきた探究活動をまとめる力と、多くの人に自分の考えを理解してもらうためのプレゼンテーション能力を養う。	知識・理解に根ざした 読解力・思考力の向上	2/22-26 第4回考査	2/15-21 家庭学習 重点週間	授業内容のまとめ。1年間の学習習慣の振り返り。	授業内容のまとめ。1年間の学習習慣の振り返り。	
2月	上	卒業式		「表現する」経験による知識欲の向上			3月～2年時スタートへ向けた学習が効果的になるように、3月特編授業を計画		
	下	探究学習 課題発表会 (代表者)	一年間行ってきた探究活動をまとめる力と、多くの人に自分の考えを理解してもらうためのプレゼンテーション能力を養う。また、発表を聴き疑問点を持ち質問する力を養う。						文理に分かれることの意味合いについて、過不足なく再確認。